

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月30日

事業所名 どんぐり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・広いスペースを利用してグループ活動にも重点を置いた指導を心掛けている。また、広くて刺激が多く入ってしまう場合は、衝立等を利用して個別の空間も作ります。	定員10名の設置基準は指導訓練室 24.7㎡ 遊戯室 16.5㎡ どんぐりは 1階の訓練室 62.1㎡ 2階の遊戯室 60.86㎡ を確保している
	② 職員の配置数は適切である	5	0	・定員10名の場合、職員配置は2名となるが、加配加算を取得し職員を4名配置している	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・構造化を行っている。一人一人に合わせた個別エリアを設ける等、必要に応じて環境設定を変更している。 情報伝達は職員同士で報告し合うようにしている。	・更に構造化できるところは行っていきたい
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・生活空間の清掃はもちろん、消毒等も毎日行っている。 ・余計な刺激となるものは置かないようにしている	・より効果的な物等があれば導入する
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・業務改善のための話し合いを毎日している	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・昨年度は保護者会を1度もできなかった。保護者からの要望もあったため、感染者数が減ったタイミングを見て1度だけだが会を開催できた。	・今後もアンケートを継続し、ご意見・ご要望にお応えできるようにしていく
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・本年度よりホームページでも公表している ・自己評価とその評価をご家族に配布し、資料を玄関の掲示板にも貼って公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	・スーパーバイザーによる支援の助言（評価）を受けている	・関係者の意見を重視するため予定なし

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイザーから助言を頂いている。 ・今年度はどんぐりの取り組みを学会で発表している。 ・外部研修（虐待防止）に参加。 ・他事業所の研修の内部報告を共同で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も研修に参加する機会が少なかつたため、次年度は参加していく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・Ｔクラックを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に具体的な児童発達支援計画を立てていく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・Ｔクラックを実施 ・行動分析のABC分析も必要に応じて使用している 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目標行動一覧を作成し、今必要な支援を職員全体で検討し児童発達支援計画を作成している 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、翌日の活動に関して話し合いを行っている 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、翌日の活動を検討し新しい活動も取り入れている 	今後も色々なプログラムを考えていきます
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況に合わせて作成している 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、職員朝礼で確認している 	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、支援後に話し合いを行い、支援の変更点等の情報を共有している 	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録用紙を個別に全員分作成している ・終礼での報告、中間評価、まとめを行っている 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を基に中間評価とまとめを行っている 		
関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参加している 	

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・行政や保育園等と情報共有を行っている	・他機関と連携した支援までには至っていないので、目指していく
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・対象となる児童が利用をされていないため非該当項目とする	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・対象となる児童が利用をされていないため非該当項目とする	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・担当者会議や書面での情報提供、共有。 ・保護者のご要望があれば幼稚園等に訪問させて頂き情報共有させてもらっている	・更に連携の取れる関係性を構築していく
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・申し送り文書(サポートブック)の作成などを行い情報共有している。会議が開催されることがあれば積極的に参加している	・支援内容等の相互理解まで行えているかがわからないため、今後努めいく
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	4	担当者会議で情報交換や共有を行い参考にさせてもらうことはある	・今後、そのような機会があれば是非参加したい
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	幼稚園に出向かせてもらっているが、交流までにはいたっていない	
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		・今後、そのような機会があれば是非参加したい
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時に1日の様子や保護者からの相談を受けている。必要に応じて別に時間を設けて話し合いも行っている。 ・連絡帳でのやりとりも行っている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・ご希望される方には、実際に療育現場を見学して頂く等行っている ・家庭訪問	
保 護 者 へ の 説	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に契約書及び重要事項説明書の内容を説明している	
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達	5	0	・個別面談時に説明を行い	

明責任等		支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			同意を得ている	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	・③⑩と同じ	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・令和3年度にはコロナの影響で1回にみの開催となった	・次年度もコロナの状況を見ながら開催を行う
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	・必要に応じて個別相談に応じている	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	・インスタグラムやツイッターで子供たちの様子を載せている	・今後も定期的に載せていきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・個人情報の入ったファイル等は施錠できる棚を使用し、事務所外に持ち出さないようにしている ・個人情報を廃棄する場合はシュレッダーを使用	・職員に対して個人情報の取扱いについての研修を行う
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・障害のある子どもに対しては、それぞれの子どもに応じたコミュニケーションツールを使用している ・保護者に対しては、電話や連絡帳等で行っている	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	・地域の方に読み聞かせに来て頂いている		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	・各マニュアルは策定している ・避難訓練を実施しているが保護者への周知はしていない ・感染の対応は社会状況に応じて変更し随時周知の文書を配布している	・避難の際に必要な物品を訓練時に避難場所まで実際に運んでみる等、より実践的な訓練にしていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・避難訓練を定期的実施している	・法人内の他事業所との連携など、より本番に近い訓練を行う予定
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	・契約時のアセスメントで確認している。 ・その都度処方箋のコピーと薬剤をお預かりする等、子どもの現状を確認できるようにご家族に協力をして頂いている	・情報の更新に漏れがないか、定期的にチェックを行う

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・アレルギーがある児童に関しては、おやつを自宅から持参してもらっている	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・些細なことでも報告を行い、事故報告書を作成し、その内容及び今後の対応策について共有している	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・虐待防止研修を実施している	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	3	・契約時に説明している。 ・身体拘束に該当する事例がないため計画への記載はしていない	・筑紫会虐待防止規程に則った対応を行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。